Together

Shukutoku University Magazine
No.240 | 2023.4.1

学長メッセージ
新入生のみなさんへ

ともいきのこころ
学祖・長谷川良信先生の足跡

特集
新生淑徳大学スタート!

地域共生センター
淑徳大学ならではの体験学習。ともいき体験。

淑徳人 No.237 Interview
想いを持ち、挑戦する。大学時代からの姿勢を貫いて生きる

ウィズ・ユー 在学生紹介
全学統一企画「ビブリオバトル2022」

CAMPUS NEWS

〈後段左より〉
淑徳大学学長 山口 光治
千葉キャンパス コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科 大木 快真さん(学園祭実行委員長)
千葉第二キャンパス 看護栄養学部 看護学科 大熊 彩莉さん(学園祭実行委員長)
東京キャンパス 人文学部 表現学科 角田 達郎さん(学園祭実行委員長)
埼玉キャンパス 経営学部 観光経営学科 小谷 真太郎さん(学園祭実行委員長)

〈前段左より〉
埼玉キャンパス 教育学部 こども教育学科 長坂 星名さん(ビブリオバトル2022埼玉キャンパス代表)
東京キャンパス 人文学部 表現学科 井坂 史さん(ビブリオバトル2022グランプリ)
千葉キャンパス 総合福祉学部 社会福祉学科 椎名 謙さん(ビブリオバトル2022準グランプリ)

SHUKUTOKU 淑徳大学

新入生のみなさんへ

学長メッセージ

豊かな人間関係を築き、淑徳大学ならではの学びを得る4年間に

淑徳大学 学長
山口 光治

新生 淑徳大学で得られる成長のチャンス

２０２３年度の新入生および保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。これから始まる4年間を想像して、胸を高鳴らせているところではないでしょうか。淑徳大学は今年度より、「新生 淑徳大学」としてスタートを切ります。地域創生学部地域創生学科と人文学部に人間科学科を新たに設置し、経営学部は埼玉キャンパスから東京キャンパスに移転、7学部13学科を擁する大学へと進化しました。学部学科が増えることで、より多様な学びの目的を持った学生たちが集うと期待できます。現在在学中のみなさんも、学部・学科、キャンパスを超えた出会いや交流の機会を持てるよう、4キャンパス統一イベントの企画・開催、ＩＣＴ活用などをさらに推進していきたいと考えています。

この「新生 淑徳大学」でみなさんにはぜひ、豊かな人間関係を築いていってほしいです。大学は高校までとは違う自分を表現できる場所。制約の多い高校時代を過ごしたみなさんにとって、新しい仲間をどうやってつくるか、どのような人間関係を構築していくか、初めは戸惑うかもしれません。みんな同じスタートラインに立って踏み出している仲間と思って、共に歩んでいきましょう。

夢や目標に向かって、主体的に取り組んでほしい

淑徳大学は、これまでも、これからも、「利他共生」（＝他者に生かされ、他者を生かし、共に生きる）の建学の精神のもと、時代と社会の要請に応えられる人材を養成していきます。社会が大きく変化しているので数年先を予測することすら難しいのですが、学生のみなさんには自身の専門的な学びに加え、時事問題や日々のニュースに注意を向けたり、社会や産業構造の変化などについて授業で話を聞いたりといったことを通じて、社会動向に関心を持つようにしてください。また、ＳＮＳや動画などで配信される大量の情報に対して受け身になるのではなく、自分の判断基準で選び取り、考える経験を積んでいってもらいたいです。

淑徳大学の強みは、専門力を高めるための授業に加え、多種多様な課外講座や活動を行っている点。学生のみなさんは、自分自身の夢や目標に向かって主体的に取り組み、社会で役立つ力を磨いています。大学としても、福祉マインドを備えた看護や、経営学と福祉を結びつけた福祉経営など、宗教・社会福祉・教育の三位一体を教育研究の基盤とする本学ならではの学びをさらに発信していくことを考えています。

２０２５年に迎える創立60周年を視野に入れ、基礎教育科目の整備、専門性を高める授業、学内から地域社会に広がる課外活動のさらなる充実を図っていきます。

新入生のみなさんへ

各学部長から新入生へのメッセージ

コミュニティ政策学部
学部長
芹澤 高斉

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。入学後、学内での授業や課外活動に加え、多くの人と出合い、多様な考え方に接し、気づいたり考えたりすることを通じて多くのことを学び、不確実な未来を生き抜く力を身につけてください。

総合福祉学部
学部長
千葉 浩彦

ご入学おめでとうございます。本学発祥の千葉キャンパスをよく見て、ゆっくりと感じてみてください。そして、さまざまな人間関係に囲まれながら学びの場を得られたことを、自らよろこび、そしてそれに応えていけるよう、一歩ずつ動き出してみてください。

教育学部
学部長
山田 晋治

教育学部に学ぶ学生たちは、将来教員や保育士として活躍するという夢をもち日々充実した大学生活を送っています。私たち教職員も新入生のみなさんの頑張りを精一杯応援していきますので、子どもに寄り添い共に学び、信頼されるよき保育者・教育者を目指してください。

看護栄養学部
学部長
林 雅晴

皆さん、ご入学、おめでとうございます!
キャンパスに足を踏み入れたその瞬間から、皆さんは看護師あるいは管理栄養士への道を歩みはじめたことになります。学業のみならず、ボランテイア活動などにも参画され、充実した学生生活を送られることを祈っております。

人文学部
学部長
小川 博章

ご入学おめでとうございます。人文学部は歴史学科、表現学科に人間科学科が加わり3学科体制でスタートします。縁あって淑徳大学で出会った友人、先輩、教職員との交流の中で、自分の心の底からドキドキワクワクすることを見つけて、大切に育ててほしいと思っています。

経営学部
学部長
千葉 千枝子

2012年、埼玉キャンパスに誕生した経営学部は10周年記念行事を開催したばかり。今春から東京キャンパスという新たな景色で、新入生の皆様をお迎えしたことは光栄です。次のステージは、さらなる発展と輝きに満ちたものになるでしょう。一緒に紡いでいきましょう。

地域創生学部
学部長
矢尾板 俊平

ご入学おめでとうございます。これからの大学生活では、さまざまな出会いが待っていることと思います。そのひとつひとつが、皆さんの人生を豊かにする糧となり、夢や希望を支えるかけがえのない財産になります。皆さんのステキな大学生活を、私たちは応援していきます。

在学生・卒業生・教員から新入生へのメッセージ

社会福祉学科長
山下 幸子

ご入学おめでとうございます。淑徳大学で学び始める皆さんを応援します。皆さんはこれからたくさんの新しいことに出会います。初めてのことは緊張しますが、一歩踏み出してみてください。大切な学びと経験、そして大切な友人を得ることができるでしょう。

［千葉キャンパス］

学生団体
Inovation Of Self

ようこそ淑徳大学へ!私たちInovation Of Selfは、学年を超えて勉強のコツなどを教え合う学生団体です。看護学科の皆さん勉強が心配ならこの団体への入会をお待ちしております!(写真は1年生のベットメイキング講座です!)

［千葉第二キャンパス］

千葉アドスタッフ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます!勉強はもちろん友達をいっぱい作ったり色々なことにチャレンジしたり、今しかできないことを思いっきり楽しんでください。大学生活が充実したものになりますように。応援してます!

［千葉キャンパス］

栄養学科2022年卒業生
北村 泰史さん
学校法人 二葉総合学園
吉祥寺二葉栄養調理専門職学校 勤務

ご入学おめでとうございます。毎日の授業や課題に追われて忙しくなるとは思いますが、適度に遊んで息抜きする事を忘れないでください。充実した大学生活になる事を心よりお祈りしております。頑張ってください。

［千葉第二キャンパス］

コミュニティ政策学科長
日野 勝吾

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これまでは「生徒」でしたが、これからは「学生」です。ぜひ学んで生きる「学生」として4年間を丁寧に過ごしてください。コミュニティ政策学科では、多種多様な学びのフィールドを用意し、学ぶ自由や権利を何よりも尊重します。ようこそコミュニティ政策学科へ。

［千葉キャンパス］

ソフトボール部
◀動画はこちら

今、様々な期待や不安があるかもしれませんが、大学で出会う仲間たちと協力して楽しい大学生活を送ってくださいね。私たちソフトボール部は日本一を目標に毎日練習に取り組み、仲間と共に充実した毎日を送っています。ぜひ、皆さんも大学生活の中で沢山の仲間と出会い、自分の目標を立て充実した大学生活を送ってください。

［埼玉キャンパス］

ピア・カウンセラー
石川 莉乃さん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちピア・カウンセラーが、皆さんの学生生活をよりよいものにできるようサポートいたします。困ったときは、是非、なんでも相談してください!

［東京キャンパス］

硬式野球部
動画はこちら▶

ご入学おめでとうございます。淑徳大学野球部は、常に感謝の気持ちを忘れずに練習、そして試合を行っています。年齢関係なく仲良く、時には厳しく注意し合いながら日頃の練習に励んでいます。2部優勝、そして1部昇格を目指しこれからも頑張ります!興味がある方はぜひ練習にお越しください。

［千葉キャンパス］

埼玉アドスタッフ卒業生

これから始まる大学生活に対して不安な気持ちもあると思いますが、勉強だけでなく、サークル活動やアルバイト等楽しいことが沢山待っています。私達も大学生活で培った経験を糧に4月から新たな一歩を踏み出しました。皆さんも4年間、淑徳大学で有意義な時間を過ごしてください!

［埼玉キャンパス］

発達臨床研究センター

ご入学おめでとうございます!これから様々な学びや出会いがあると思います。楽しい大学生活を送れることを願っています。発達臨床研究センターは、発達に気がかりのある幼児から小学生までのお子さんの発達をサポートする機関です。実習参加は3年生からになりますが、1年生は夏に参加できる行事があります。興味があれば是非参加してくださいね!

［千葉キャンパス］

卒業生一同
社会福祉法人 淑徳福祉会
淑徳共生苑 勤務

ご入学おめでとうございます。これから始まる4年間の学生生活で様々な勉強や経験をする事と思います。充実した学生生活となるよう、自主性・積極性を持って何事にも挑戦してみてください。

［千葉キャンパス］

声劇サークルVox
村田 蓮さん
▲動画はこちら

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。声劇サークルVoxです。主に、新入生歓迎会や淑徳祭に向けて、声優のような声のみでの演技の練習を行っています。また、今後機会があれば、朗読会や舞台演劇など、活動の幅を広げていきたいと考えています。新入生の皆様と一緒に夢に向かって活動できることを心待ちにしております。それぞれの夢に向かって、4年間頑張ってください。

［東京キャンパス］

教育福祉学科長
齊藤 崇

ご入学おめでとうございます。皆さんと共に学問を探究できることを楽しみにしています。淑徳大学で、子ども達やその家族の幸せの実現のために、仲間とともに人間性を豊かに育みながら「福祉マインド」をもった保育者・教員を目指して、ともに成長していきましょう。

［千葉キャンパス］

東京アドスタッフ
奥永 琴さん

ご入学おめでとうございます。大学では、新しいことにチャレンジする機会が多くあります。私はアドスタッフという組織に入り、学年学科問わず仲の良い学生が増えました。そしてアドスタッフは、大学の顔としてとてもやりがいのある仕事です。ぜひ皆さんも私と共に学生生活を満喫させませんか。お待ちしております。

［東京キャンパス］

看護学科2012年卒業生
菅 侑也さん
社会福祉法人 親善福祉協会
国際親善総合病院 勤務

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。これから始まる4年間の大学生活は一番実りの多い時期かと思います。勉強はもちろんのこと、素晴らしい友人に巡りあい、充実した学生生活を送れるようお祈りします。

［千葉第二キャンパス］

女子柔道部
◀動画はこちら

待ちに待った大学生活ですね。大学では「自分」というものをしっかり持っていないと、いくらでも怠けることができるものです。私たちの監督がよく仰る言葉です。理想の「自分」に近づく為、日々ベストを尽くすこと。理想の反対は妥協。何事にも妥協しなければ、理想の「自分」になれる。将来をしっかり見据えて、夢に向かって頑張ってください。応援しています!私たちも頑張ります!

［埼玉キャンパス］

実践心理学科長
久保田 美法

ご入学おめでとうございます。大学の4年間は、世界がぐんと広がり、様々な人やものと出会える時期かと思います。新しい出会いはまた、今まで気づかなかった自分と新たに出会うことでもあるでしょう。どうぞ豊かな時間が過ごせますよう、お祈りしています。

［千葉キャンパス］

埼玉アドスタッフ在学生

大学では、勉強はもちろん、課外活動、サークル、アルバイトなど、色々なことにチャレンジできる時間がたくさんあります。そのチャンスを活かすために、様々なことに積極的に取り組んで、後悔のない大学生活を送ってください!

［埼玉キャンパス］

ボランティアサークル
shukutokids

ご入学おめでとうございます。shukutokidsは病院でボランティア活動を行っている団体です。今はコロナ禍で病院に行けないため、病院にバルーンや壁飾りなどをプレゼントしています。こどもが好き、ボランティアに興味のある方の参加をお待ちしています!

［千葉第二キャンパス］

表現学科2023年卒業生
野中 優海さん
株式会社クリーク・アンド・リバー社

入学おめでとうございます! 淑徳大学には、可能性を広げるチャンスがたくさんあります。大学で専門分野の基礎を学び、積極的に外へ出てみてください。自分の中で何か光るものが見つかるはずです。応援しています!

［東京キャンパス］

千葉キャンパス
消防団

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。公務員になりたい方、新しいことを始めたい方、災害について知識を付けたい方、大学生活を充実させたい方、そんな皆さんにおすすめなもの、それが淑徳大学学生消防団です。消防団では、月に1回程度、防災パトロールや放水訓練、団員同士の規律を整えるための規律訓練などを行っています。やったことが無いから不安を抱えている方、難しそうだから遠慮してしまっている方こそ、一度、学事部地域連携室までお話を聞きに来てください。

［千葉キャンパス］

学祖・長谷川良信先生の足跡

―写真から広がる長谷川良信先生の世界―

写真について

今回の写真は、淑徳大学の建設初日の鍬入れ式に臨む良信先生です。1964年７月28日午前11時より淑徳大学の校舎地鎮式と起工式が挙行されました。開学当初からの建物で、現在も唯一残る1号館（淑水記念館）の位置で行われています。

▲ 鍬入れ式の長谷川良信先生

1 4年制大学設置全会一致で決まる

1962年秋、大乗淑徳学園創立70周年記念式典が開かれます。この式典後に開催された全学教職員会議に、良信先生が4年制大学の設置構想を提案し、全会一致で決議となりました。

2 大学開学までの道のり

振り返ると、良信先生は社会福祉科設置を３回にわたり申請しています。

1949年、女子専門学校で申請し、続いて同校が短期大学に昇格する1950年にも申請を試み（従来の農芸科と新たに家政科は認められる）、さらに短大が移転する1959年に農芸科を農芸栄養科へ改組することにあわせて３度めの申請を試みます。

しかしいずれも認められず、1961年、短大にやっと社会福祉学科開設となります。良信先生はここで立ち止まらず、4年制大学開学を目指していきます。

3 構想と決断

女子教育に力を入れてきた良信先生は、女子大として、栄養・福祉の2学部同時開設と短大の校地・校舎を拡充することも当初の構想としていました。

都内に校地を確保することが叶わないことがわかると、1963年には第60世住職でもあった大巌寺の敷地に大学を建設することを決定します。

1964年には、この方針を変えて「男女共学で行こう」と決断しました。

4 良信先生にとっての大学創建の意味

良信先生は4年制大学の設置を「事業面の最後のご奉公」と位置づけていました。長谷川匡俊氏（大乗淑徳学園理事長）も、「心身ともに後がない、何としても成し遂げなければという悲願であった」と、4年制大学設置に全身全霊を傾けていた良信先生の当時を振り返ります。

5 良信先生の強い願い

校舎の建設も始まり、1964年11月、大学の認可申請が正式に行われました。その途中ではハード面・ソフト面で不測の事態が起きますが、良信先生は様々な人脈や創意工夫により解決していきました。良信先生自ら後継者を養成したいという強い願いで、待望の4年制大学、淑徳大学は1965年4月にスタートしました。

参考文献
長谷川匡俊　『トゥギャザー ウィズ ヒム』2020年
『淑徳大学五十年史』

（作成　淑徳大学アーカイブズ）

淑徳大学アーカイブズ（千葉キャンパス1号館3F）▶

Together 特集 SPECIAL FEATURE

新生淑徳大学スタート！

2023年4月より、新たな学部学科の開設や一部学部のキャンパス移転、全学共通基礎教育科目の開講、新たな学生支援体制の整備等、満を持して新生淑徳大学がスタートしました。新たな運営体制の下、広い教養と専門的知識、技能を身に付けた人材の教育、及び充実した学生生活の支援に寄与していきます。本特集では、新生淑徳大学の新たな展開を一部ご紹介させていただきます。

PICKUP FIRST

7学部13学科の総合大学

地域創生学部地域創生学科・人文学部人間科学科の新設、経営学部の埼玉キャンパスから東京キャンパスへの移転が行われ、7学部13学科4キャンパスの総合大学へと発展しました。今後はより幅広い学問分野で学生に学びを提供していきます。

※新設学部学科、移転学部の詳細は7~10ページを参照。

PICKUP SECOND

S-BASIC（全学共通基礎教育科目）

1つの淑徳大学（One shukutoku）として共通の「学士力」を目指すべく、全学部学科共通で、これからの社会を生き抜くために必要な基本的な力（知識・技能・態度）を身に付けられる、全学共通基礎教育科目「S-BASIC」がスタートしました。8つの大項目に区分される多彩なカリキュラムを提供し、これらを礎として、各学科の専門教育科目へ学びを深めます。

PICKUP THIRD

地域共生センター開設

「建学の精神の行動化」をいっそう推進するため、地域支援ボランティアセンターを発展・強化させ、新たに地域共生センターを開設しました。地域での活動、体験を通して「他者と向き合い、共に生き、生かし合う社会の実現と、生涯にわたり地域社会に貢献するという生き方」を学ぶプログラムを全キャンパスで展開していきます。

※詳細は11ページを参照。

PICKUP FOURTH

学修支援制度の構築

2023年度以降、誰でも自由に利用でき、プログラム化された学習だけではなく、個別の学習指導や学習意欲を引き出すプログラム、そして個人が尊重される空間を提供する、学修支援制度が開始予定です。学修支援と学習意欲を向上させる取り組みにより、学生をサポートします。

PICKUP FIFTH

キャリア教育・支援センターの設置

学生一人ひとりが納得できる進路選択を後押しすべく、本学のキャリア教育・支援体制を全学的に統括するセンターが設置されました。キャンパス間のキャリア教育・支援の統一化を図り、各キャンパスの特色を活かしながらも全学生のサポート格差の減少やノウハウの一元的集約、そして大学全体のキャリア支援に対する専門性の維持と向上を図ります。

PICKUP SIXTH

留学生別科の設置

留学生の受け入れを更に充実させていくべく、留学生別科を新たに設置しました。2023年度は日本語能力の修得を主とした「予備教育型」のコースを東京キャンパスに設置し、フィールドワーク等を取り入れ、日本語教育に精通した教員が一人ひとり丁寧に指導していきます。

Together 特集 SPECIAL FEATURE

地域創生学部 地域創生学科

社会の変化に寄りそった地域創生を学ぶ

淑徳大学の原点に立ち、幸せを感じ続けられる地域づくりの答えを共に見つける

地域創生学部 学部長
矢尾板 俊平教授

社会事業家を育成する使命を持った地域創生学部

日本は今、人口増加から人口減少への転換、少子化や高齢化の進展など人口構造や社会構造が大きく変化し、多様な社会や地域の課題を地域自ら解決することが求められる時代になりました。国の重要政策課題として地方創生が掲げられ、各地域ではそれぞれの特長を活かした持続可能な取り組みを進めることが急務になっています。このような社会の変化を受けて私たち淑徳大学では、創立以来蓄積してきた教育研究資源を活かし、利他共生、感恩奉仕の建学の精神に基づいた社会事業家の育成を目標として、地域創生学部の新設に至りました。

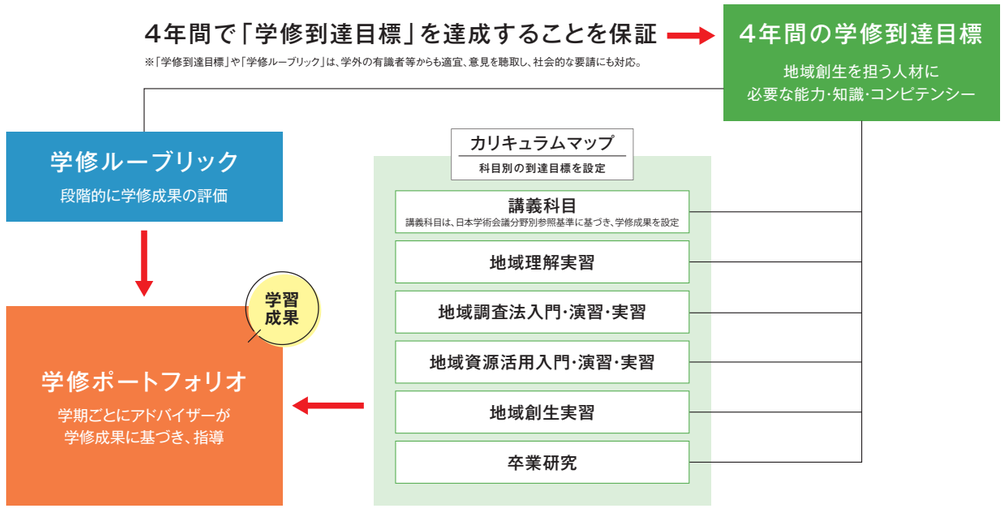
本学部が考える地域創生とは、地域に住む人々の暮らしが豊かになり、皆が幸せを感じ続けられる地域になるための手段です。ゴールとなるのは、ウェルビーイングの向上です。地域と共に考え、行動できる人材を育成することが私たちの使命です。そのためには、地域が有する内在的な資源や潜在力を発揮させること、つまり、「社会開発」の視点が不可欠です。また産業と文化、人々の暮らしと文化はつながっています。歴史的な系譜の中に、私たちの「いま」があります。その中で、地域社会の発展と継承のための「答え」を探していきます。

継続的な関係を築く地域実習で実践力を磨く

本学部の大きな学びの特色は、卒業に必要な単位のうち、約3割を占める地域実習関連科目です。地域実習では、継続的な訪問及び長期滞在を通じて地域の産業や文化、社会構造、人々の暮らしについて調査し、地域の人々と交流しながら、地域が持つ資源や潜在力を活かした地域創生策を提案、試行していきます。また、そうした学びの基盤として、クォーター制（4学期制）を導入します。クォーター制は、約2か月という短期間で集中的に授業を履修するため、密度の高い学修を促し、高い教育効果も期待できます。学生たちは、この高い教育効果を期待できる4年間の学修プログラムの中で、地域課題を解決し、持続可能な地域を創るための仕組みづくりや貢献できる力を磨いていきます。

学生たちの将来は多彩な進路が考えられますが、共通することは社会事業家を目指して欲しいということです。例えば、地域創生の実践者としてこれまでとは違った発想や企画力を持って行動できる挑戦的な公務員、地域産業を担う企業への就職、後継者不在のために事業をやめてしまう地域に根ざした飲食店や店舗などの事業承継者、地域文化に携わる文化関連企業や団体への就職やコーディネーターとしての活動など、ソーシャルアントレプレナーシップを持った人材として幅広い活躍の場があります。

地域創生学部の教育システム（質保証システム）



4年間で確実に成長するための教育システムの導入

本学部では、学生が成長を実感しながら学ぶことができる教育システムを組織的に運用します。地域創生の実務家にヒアリングを行い、「地域創生を担う人材に必要な能力・知識・コンピテンシー」を抽出し、これを4年間かけて到達すべき学修目標として設定しました。そしてカリキュラムマップに沿って設定した科目別の到達目標に対する成果を、学生は学期ごとに「学修ルーブリック」を用いて学修成果を振り返ります。これを「学修ポートフォリオ」にまとめ、アドバイザー教員が目標未達箇所の指導を行います。設定した目標に沿って細かく段階的に評価していくため、学生自身で学修課題に気づき、教員も的確な指導ができるのがこの教育システムの特長です。

地域創生学科 科目紹介

地域に入って学ぶ「地域実習科目」

東京圏（関東圏）や地方圏の地域で、地域創生を体験的に学ぶ短期訪問と長期滞在による学外学修プログラム。社会、産業、文化、政策の分野を幅広く学び、立体的かつ総合的に地域創生のあり方を捉えます。また、継続的に地域と関わることで、卒業時に“3つのホームタウン”を持つことを目指します。

1年次…「地域理解実習」では、主に東京圏（関東圏）の地域―三芳町（埼玉県）、富士見市（埼玉県）、八潮市（埼玉県）、笠間市（茨城県）、千葉市（千葉県）―をフィールドに、地域社会の構造、自治体の地域創生の政策、文化や産業、地域資源について、現地を訪問し、見学や調査を通じて、「地域」の実態を理解します。

2年次…「地域調査法演習」・「地域資源活用演習」では、地域における人々の暮らしや課題、地域の成り立ちに関する調査の方法や、地域が持つ資源を活用した事業設計などについて演習形式で学び、3年次の実習につなげます。

3年次…「地域創生実習」では、主に地方圏での長期滞在型の実習を通じて、1年次、2年次で学んできた知識や修得したスキルに基づき、地域の課題を発見し、地域の住民の方と連携して、具体的な地域創生策を検討し、試行することで、地域づくりの実践を行います。

4年次…「卒業研究」では、学生自身の問題意識や関心に基づいたテーマを設定し、いわゆる「ゼミ」担当教員の指導に基づき、1～3年次に経験した東京圏と地方圏の比較を行いながら、地域づくりの成果をまとめます。

地域実習の流れ

- 1年次　地域の理解を深める
- ▼
- 2年次　地域づくりの方法を習得する
- ▼
- 3年次　地域づくりを実践する
- ▼
- 4年次　地域づくりの成果をまとめる

PICK UP

茨城県笠間市で新入生セミナーを行います！

4月初旬に新入生セミナーを開催予定です。目的地は学祖・長谷川良信先生の生まれ故郷である茨城県笠間市。新設学部の1期生として学祖の志を学び、学部創設の意味を理解することが主な目的です。また、笠間焼の絵付け体験、笠間稲荷神社の見学、周辺地域の散策なども行っていきます。本学部は、地域社会、地域産業、地域文化の3つの視点から学びを深めていくので、笠間稲荷神社では参拝客を増やすための工夫、歴史的背景、地域ブランドを活かした商品をそれぞれ探すことにも挑戦予定。今後の学びの事前体験と、4年間共に学ぶ仲間との交流を深めていきます。

人文学部 人間科学科

多様性と可能性を探求する学び

広い視野を持ち、「生きる力」を高める

人間科学科 学科長
長谷川 美貴子教授

4月から新たなスタートを切った本学科では、人間科学を「人間の多様性と可能性を探求する学問」と定義しています。昨今、多くの学問分野は専門分化することで発展を遂げてきました。その中で、「人間とは何か」という根源的な問いに向き合う人間科学では、人間を全人的にとらえる視点が重要です。そのためには、広い視野を持つことが不可欠です。本学科では、学びたいことを型にはめずに自由に選択し、心を開くことで多くの学びを吸収していくことができます。このような学修は、問題解決能力を高め、自己肯定感の高まりや前を向く力につながると同時に、学生一人ひとりの人間力、すなわち「生きる力」を高めていけると考えています。

1期生として入学する新入生は、さまざまな興味、関心を持った学生たちです。本学科は国家資格である公認心理師をめざせる専門的なカリキュラムも整っているので、心理系の専門職をめざす学生、心理・福祉・教育・健康の4つの領域に広く関心を持つ学生など、学びの特徴と同様、学生たちにも多様性を感じます。彼らは、11人の専任教員が担当するゼミに1年次から入り、関心のある学びを深めていきます。10人程度と少人数のゼミなので教員との距離が近く、1年次から将来の姿を見据えた学びに取り組むことができます。実務経験を持つ教員が多いので、教員との対話から、働く姿を具体的に描くこともできるでしょう。また、ワークショップやフィールドワークを通じて具体的な事例を取り上げながら、学生同士で話し合い、意見や解決策をまとめていく力を伸ばしていきます。

人間科学は比較的新しい学問分野。そのため、他学科とのコラボレーション、地域社会との連携、企業との協業などさまざまなことに挑戦し、学生と教職員が一緒に学問体系をつくりあげていきたいです。創立以来、宗教・社会福祉・教育の三位一体による人間開発・社会開発を掲げてきた本学は、人間存在について考え続け、共に生きる生き方を貫いてきました。これはまさに、本学科が育成をめざす学生像でもあります。複雑な問題が山積する現実社会で生きる人間に目を向け、身につけた力を活かしていける人を育てていきます。

教員からひとこと

人間科学科
武内 智弥准教授

人間科学科では、心理職を目指すぞ！という学生でなくても心理学を学びます。心理学は哲学から離れて、形の無いものを客観性を高めて扱えるよう発展しました。ですので、心理学を学ぶ際には、単に知識を得るというよりも、目の前で起きている現象やデータをどう考えるのか、例えば「ピンときた・それっぽい」ではなく、影響しそうな要素を見つけ出したり、等しく大切に検討するといった力を育むことになります（さらに、根拠をもって、納得されるよう説明する力も、です）。加えて、人間科学科らしい教育や、福祉や健康といった様々な視点を身につけ物事を多角的に見ることも、思考が拡がりますね。皆さんはどのような力を育みたいですか？4年後が楽しみです。

PICK UP

自由な学びをバックアップする人間共同研究ルーム

心理学系や福祉学系など人間科学科専門書籍や、心理学の実験器具や心理検査器具、レポート作成用のパソコンなどが設置され、自主学習やグループワークで学生たちが自由に学べる部屋です。教員も出入りするので、様々なコミュニケーションの機会が拡がります。

人間科学科 科目紹介

スポーツ生理学
スポーツやトレーニングによって身体に起こる生理的な反応や変化を具体的に学びます。健康を考える上で重要な身体のメカニズムへの理解は、運動のパフォーマンスに大きな影響を与えるので、指導する上で不可欠な要素です。

教育心理学
「テストは何のためにするの？」「学校の存在意義は？」「先生は何を考えている？」などこれまでに体験した学校教育の中での疑問について心理学の観点から新たに学びます。

福祉心理学
「認知症の人はどのような体験をしている？」「虐待を受けた子どもはどのように心のキズを癒している？」など福祉の現場での心理支援について じっくり学びます。

心理学基礎実験
人は他人に侵入されたくないパーソナルスペースを持っています。このような社会心理のテーマも実験によってお互いに測定しあいながら学びます。

経営学部 経営学科・観光経営学科

東京キャンパス移転でパワーアップ！

将来やキャリアが見つかる「生きた学び」

経営学部 学部長
千葉 千枝子教授

2012年4月、埼玉キャンパスに創設された経営学部は昨年度、設立10周年を迎えました。そして、次の10年に向けた一歩は、新たに東京キャンパスへと踏み出しました。経営学科では今年度から定員を40人増やし、1学年150人の体制でスタートしています。高校生のみなさんからは、東京キャンパスの地の利を活かし、最先端のビジネスにふれられる機会や、これからの経営に欠かせないDX（デジタルトランスフォーメーション）推進に必要な情報学、データサイエンスに対応したカリキュラムへの期待を強く感じています。また、観光経営学科では、ポストコロナ元年と呼ばれる今年、観光業界の就職状況が急回復しており、2022年度卒業生は過去にない内定率を得ています。

経営学部の注目ポイントは大きく二つあります。一つは今年度より本格始動するSLDP（淑徳リーダーシップ・ディベロップメント・プログラム）。これは、8年前から導入し、高い成果を挙げたLA（ラーニングアシスタント）型教育と実践型教育の融合で、学生と教員が共に学び、共に生み出す新しい学びのスタイルです。企業と協業してビジネスコンテストなどに先輩・後輩学生が一緒に出場するなど、多彩な参加型プロジェクトを用意しています。もう一つは充実した体験型学習です。2年次からゼミに入って専門的な学びを深める経営学部では、担当教員が積極的に学生たちを学外に連れて行き、体験型学習を実施。経営学科ではさまざまな企業や東京証券取引所などの視察、観光経営学科では山形や金沢の有名旅館やこれから観光業の盛り上がりが期待される地域の視察など、年間100回以上の体験型学習を行っています。少人数制だからこそ実現する、充実したサポート体制が整います。

今後も学部としての強みを活かしつつ、板橋区をはじめとする全国の自治体や企業、団体と連携しながら「生きた学び」を提供していきたいと考えています。経営学部での4年間は自分探しの時間です。将来、マネジメント人材として社会で活躍できる知識、スキルを蓄えるための学びや経験を通して、ぜひ自分らしい将来キャリア像を見つけてください。

教員からひとこと

経営学科 学科長
竹中 徹教授

マネジメント行動の可視化

「経営学」を中心とした諸学問は、その具体的な内容が一般にイメージしにくいようです。高校生の話を聞くと、「会社の経営の仕方」あるいは「お金儲けの方法」といったとらえ方をしていることが多く、実際とのギャップが感じられます。

令和5年度より始動する経営学科新カリキュラムでは、広範な経営学とその周辺領域を、「マネジメント」をはじめとする4+1の学びの領域にカテゴライズ。また、学生がプロジェクトのライフサイクルを体験することを通じ、実際のマネジメント行動を体感する「経営プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」といった新科目を設置。捉えにくいマネジメント行動を可視化した学びで、社会で自律的に活躍できる人材育成を目指します。

教員からひとこと

観光経営学科 学科長
吉田 雅也教授

より多くの観光関連企業や観光地との連携を強化します

観光経営学科では、実際に観光地や観光関連の企業を訪れるフィールドワークを通して、現場の実態を五感で捉え、またリアルな課題解決等にも取り組んでいます。東京キャンパス移転によって、都心までのアクセスがさらに至便になることで、より多くの企業や観光地との連携をすすめていくことを目指します。今後、観光業は勢いを増していきますが、日本経済を牽引する産業となるためには「稼ぐ力」を伸ばす必要があります。訪日旅行客がもっとも多く訪れる都市・東京を拠点にして、「経営学」と「観光学」の実践的な学びを深め、将来即戦力として活躍できる人材を育成してまいります。

PICK UP

後学期に短期海外研修の再開！

コロナ禍の影響で3年間実施されていなかった「短期海外研修」が、今年度の後学期にいよいよ再開されます！行き先は未定ですが、シンガポールなどを検討中。3泊4日滞在し、現地の日系企業訪問、産業・経済団体の訪問、観光資源の視察などを行います。後期開講科目の一環なので、渡航前に現地の政治経済やビジネス、観光資源などの基礎的な知識を修得し、事後学習もしっかり行います。

観光経営学科 科目紹介

観光経営研究Ⅱ・Ⅲ※

観光関連業界のさまざまなテーマを1つ選んで、仮説構築や現地調査により、具体的かつ実践的に観光を学びます。また、実際の企業から提示される問題解決に取り組む機会もあり、企業が抱える課題を理解したり、コミュニケーション能力やプレゼン能力など実社会で役立つ力も身に付きます。

※2025年度より「観光経営実践Ⅰ・Ⅱ」に変更

経営学科 科目紹介

企業経営研究Ⅱ・Ⅲ※

この授業は、企業が抱える諸課題を、PBL型授業で展開しています。また、新カリキュラム「経営プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」では、これまで培った実践型授業のノウハウを生かし、計画立案から課題解決まで一連のプロジェクトライフサイクルを実践することにより、経営プロセスを体験します。

※2025年度より「経営プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ」に変更

地域共生センター

ともプロ
人とともに地域とともにプログラム

「共生の理念と実学教育」の行動化をいっそう推進するため、
地域支援ボランティアセンターを発展・強化させ、新たに地域共生センターを創設しました。

淑徳大学ならではの体験学習。ともいき体験。

他者と共に、地域で学ぶ、体験型プログラムを展開

センターに「地域共生コーディネーター」を配置し、学生1人ひとりの成長に寄り添い、学生が地域社会に貢献することを通して学ぶサポートをしていきます。学生自ら目的意識を持ち活動するプログラムや、地域で学び、地域で活かすプログラムなどを展開していきます。

人間関係を築くこと、感受性を磨くこと、社会性を育むことなどを、体験を通して高め、建学の精神を行動化していく「淑徳らしい学びの機会」を提供します。

センター長挨拶

淑徳大学
地域共生センター長
鈴木 敏彦

淑徳大学地域共生センターは、本学の建学の精神「利他共生の理念と実学教育」を具体的に展開する場として誕生いたしました。現在の地域社会では、淑徳大学が志向する「共生(ともいき)」とは異なり、社会的排除や分断が生じています。すべての人がその存在を尊重される社会を創るために、私たち一人ひとりは何をすべきでしょうか?

地域共生センターでは、7学部13学科で学ぶ全ての学生の皆さんとその学びを支える教職員、卒業生や地域の皆さんが、自らを起点として「共生」とは何かを考え、一人ひとりが共生社会の実現に向けた第一歩を踏み出すための応援の場となることを目指しています。

全学部学生対象「淑徳大学認定プログラム」や、社会人・同窓生対象の「淑徳大学履修証明プログラム」など、その他、多くの取り組みを進めてまいります。同窓生をはじめ地域住民の方も是非一緒にご参加ください。

地域共生センター紹介・講座紹介
ダイジェストはこちら

淑徳人 No.237 Shukutoku OB&OG Interview

人とつながり支えられている

想いを持ち、挑戦する。大学時代からの姿勢を貫いて生きる

淑徳共生苑　事務長
佐藤 利信さん
Sato Toshinobu

社会福祉学部（当時）社会福祉学科 2003年卒
社会福祉法人 淑徳福祉会 淑徳共生苑

入職式での一枚

友人の一言が挑戦し続ける気持ちの支え

淑徳大学に在学中の2000年に介護保険制度が施行され、日本の高齢者福祉を取り巻く環境が大きく変化しました。その中で10年、20年先の福祉を考えた時、ビジネスでの視点が絶対に必要になると考え、卒業後は社会福祉法人や民間企業が運営するさまざまな高齢者福祉施設で働きました。生活相談員や営業職として経験を積み、民間企業のビジネス手法を身につけた上で、昨年から社会福祉法人の特別養護老人ホームの事務長を務めています。

20年にわたる社会人生活を支えてくれているのは、大学で出会った友人の一言です。3年次の学園祭で、所属するボランティアサークルの大きな企画を動かしていたのですが、当日発熱してしまい…そのことが悔しくて悔しくて。打ち上げで酔いつぶれてしまった私を背負って帰宅してくれた友人が、周りにいたメンバーたちに「こいつがいなかったら、こんな大成功にならなかったよ」と言ったのです。一生懸命に取り組めば、必ず見てくれている人がいると感じた瞬間でした。社会に出てからも挑戦と失敗の繰り返しですが、折々でこの言葉に励まされています。

今でもつながりのある大学のサークル仲間

移動販売で利用者様と

さまざまな出会いを通じて想いを表現する力を磨いてほしい

私が働く淑徳共生苑では、社会福祉学科の学生たちを実習で受け入れています。今の学生は本当に優秀です。これからの福祉への想いや地域貢献について、自分の考えをしっかり持っています。ただ、それを表現する、伝えるという力がやや乏しいように感じます。おそらく、やさしさゆえに他の人の感情や場の空気を考えすぎてしまい、表現することをためらってしまうのではないでしょうか。在学生のみなさんには、大学4年間で表現力を磨いてほしいです。表現するということは、相手の想いをしっかり受け止めることでもあります。ぜひ、いろいろな人と接し、議論を深めてみてください。淑徳大学にはそれができる環境があり、仲間、先輩後輩、先生たちがいます。表現力を磨き、社会に出た時に自分の想いをしっかり伝えられる人に成長していってほしいです。

職員でソーラン節を披露しました

在学生紹介 Student introduction

学部やキャンパスを超えた、本と人との新たな出会い

学園祭の全学統一企画で盛り上がる！

本戦を前に4キャンパスで行われた予選。予選には総勢330人が応募し、大変な盛り上がりを見せました。東京キャンパスで行われた本戦に対面&オンラインで集った4人のバトラー（発表参加者）たちに話を聞きました。

（写真左から）長坂 星名さん、椎名 謙さん、井坂 史さん
（オンライン参加）小仁所 香々菜さん

対面&オンラインのハイブリッドで開催！

全学統一企画「ビブリオバトル2022」

「ビブリオバトル2022」は、2022年度学園祭の全学統一イベントとして実施されました。ビブリオバトルとは、オススメの本を1人5分程度で発表、参加者が議論して一番読みたくなった一冊を投票で決める本の紹介コミュニケーションゲーム。今、全国の小中高校・大学・一般企業の研修や勉強会などで広く行われています。本学では各キャンパスの予選を勝ち抜いた学生4人が本戦に臨み、白熱の書評合戦を展開しました。

小仁所 香々菜さん
千葉第二キャンパス代表
看護栄養学部 看護学科1年

長坂 星名さん
埼玉キャンパス代表
教育学部 こども教育学科3年

椎名 謙さん
千葉キャンパス代表
総合福祉学部 社会福祉学科2年

井坂 史さん
東京キャンパス代表
人文学部 表現学科2年

学園祭のビブリオバトルに参加しようと思ったきっかけは？

【長坂】 大学ポータルサイト「G-Navi」でこのイベントを知りました。中学生の弟が宿題でビブリオバトル用の選書をしていたこともあり、好奇心を刺激されました。

【椎名】 実は読書は苦手なのですが、大学に入って何か挑戦したいと考えていたので、良い機会だと思いました。コロナ禍もあって交流が少ない他キャンパスの学生と決勝戦で議論できる点も魅力でした。

【小仁所】 私も本に触れる良い機会だと思って参加しました。また、本が世界を広げてくれることを本好きの人にも、そうでない人にも伝えたかったので参加しました。

事前にどのような準備をしましたか。

【井坂】 「読みたい」と思わせることを重視し、掴み、インパクト、オチの構成を予選ギリギリまで考えていました。

【椎名】 井坂さんの話し方や構成は秀逸でさすが表現学科！と感じました。本だけでなく、話す人の魅力も強く感じました。私は全国高等学校ビブリオバトル決勝大会の動画を何回も見て研究。印象に残る人の話し方や構成を参考にして発表に取り入れました。

【小仁所】 私も井坂さんの発表は、本の良さを自分の言葉で伝える特別な瞬間を大切にしていると感じ、紹介された本を読みたくなりました。私自身は選書を重視。本から受け取ることは人それぞれなので、内容に触れすぎず、私がこの本から受け取った勇気や希望について話しました。

【井坂】 ビブリオバトル自体には、高校時代にも参加したことがありました。ただ、その時はぶっつけ本番だったので、いつか、きちんと準備して再挑戦したいと思っていました。今回、たくさんの人にお勧めしたいと思える本をちょうど読み終わったところだったので、満を持して参加することにしました。

【長坂】 大学に入って何か挑戦したいと考えていたので、良い機会だと思いました。コロナ禍もあって交流が少ない他キャンパスの学生と決勝戦で議論できる点も魅力でした。

【小仁所】 私も本に触れる良い機会だと思って参加しました。また、本が世界を広げてくれることを本好きの人にも、そうでない人にも伝えたかったので参加しました。

事前にどのような準備をしましたか。

【井坂】 「読みたい」と思わせることを重視し、掴み、インパクト、オチの構成を予選ギリギリまで考えていました。

【椎名】 井坂さんの話し方や構成は秀逸でさすが表現学科！と感じました。本だけでなく、話す人の魅力も強く感じました。私は全国高等学校ビブリオバトル決勝大会の動画を何回も見て研究。印象に残る人の話し方や構成を参考にして発表に取り入れました。

【小仁所】 私も井坂さんの発表は、本の良さを自分の言葉で伝える特別な瞬間を大切にしていると感じ、紹介された本を読みたくなりました。私自身は選書を重視。本から受け取ることは人それぞれなので、内容に触れすぎず、私がこの本から受け取った勇気や希望について話しました。

【長坂】 私が紹介した本はノンフィクションだったため、書いてあることが意図しない形で伝わらないよう細心の注意を図りました。

私が推すこの一冊

紹介した本を教えてください。

【長坂】 **「ありがとう、わたし乃木坂46を卒業して、心理カウンセラーになるまで」（中元日芽香著、文藝春秋）**。アイドルグループの乃木坂46に1期生として加入した著者のエッセイです。自分と重ね合わせることができ、自分に向き合う機会をつくってくれる一冊でもあります。

【小仁所】 **「I met a boy:父の日に、バンビ公園で。」（松尾健史著、ディスカヴァー・トゥエンティワン）**。この本から勇気や希望をもらったので、それについて話しました。何気ない小さな勇気が今を明るくし、小さな希望を与えてくれる―自分と向き合うきっかけになる時間をくれる、温かい物語が魅力です。

【椎名】 **「最弱ナイン　不登校球児の青春」（柳川悠二著、角川書店）**。通信制高校に通う高校生たちが甲子園をめざす物語で、発達障がい、不登校、非行少年などさまざまな個性を持つ球児たちと監督や先生方とのやり取りから、人それぞれ得られるものがあると思います。

【井坂】 **「明け方の若者たち」（カツセマサヒコ著、幻冬舎）**。登場人物はどこまでもリアルな人間で、度々ある性描写も生々しく、だからこそより身近に感じられます。一緒に人生を歩んでいるような、そんな気持ちになる本です。リアルから小説へと突然、突き放される最後の一文は特に注目です。

学科やオンライン授業で身につけたスキルが役立つ

今回、4キャンパスの垣根を超え、対面とオンラインのハイブリッド方式で決勝戦が開催されました。発表で心がけたことは？

【小仁所】 勇気を与えてくれる本だということを伝えたかったので、本の内容を話すのではなく、私が感じた思いを言語化するよう心がけました。そうすることで、発表に説得力が出て、聞いている人が「読んでみたい」と興味を持ってくれるのでは、と思ったからです。感じたことを声に出して伝えることができる、貴重な機会でもありました。

【長坂】 学科の模擬授業では、話す速度が速くなると先生方から指摘されていました。そのことを思い出し、聞き取りやすくゆっくり、はっきりと話すことを意識していました。

【椎名】 長坂さんの発表も印象に残っています。教員をめざしているということもあってか、内容が聞きやすく、心をつかまれるような発表でした。決勝戦は動画提出という形だったので、声量や画角などに気をつけながら撮影しました。

【井坂】 私も速度と間を意識しました。普段の授業でも、発表の時は緊張から早口になりがちだからです。また、強調の仕方として聞き逃してほしくないキーワードの前後は一呼吸置くよう心掛けました。

ビブリオバトルの面白さを教えてください。

【小仁所】 本を通じて感じたことを言葉にする面白さに気づきました。言葉にすることで、自分の中にあった新たな気づきを発見。本を通じてたくさんの人とつながれたと思います。

【井坂】 一冊の本のどこをプレゼンするかは自分次第で、聞き手の「読みたい」を引き出せると楽しいです。また、読んだことのない本に出会える場です。

【椎名】 同じ本の紹介でも、人によって感銘を受けた点、構成の仕方などに個性が出て、どれも正解だという点。今回、たくさんの人の発表を見て、何回も練り直して考えた自分の紹介本を改めて読みたくなりました。

【長坂】 椎名さんと同じように、本を通じて発表者の個性を感じました。また、ほかの人が読んでいる本を知ることはあまりないので、良い機会だと思います。

審査員からのご講評

鳥本 泰造様
株式会社 紀伊國屋書店
営業総本部 首都圏北営業部 部長

今回グランプリに選出された井坂さんの発表が、書店の店頭での出会いにはじまり、本を読み進めていくうちに引きこまれていくプロセス、描写の引用、最後のやられたという感想に至るまで、「本」であるからこその楽しさを伝えていて頭ひとつ抜きんでていましたね。

杉原 麻美准教授
東京キャンパス
人文学部 表現学科

各キャンパス代表が選んだ本はジャンルやテーマも多様で、4キャンパス合同開催の醍醐味を感じる決勝戦でした。同世代でも興味関心が違えば選ぶ本も感じ方も異なります。ビブリオバトルの魅力は、他者の持つ視点と感動に触れられること。今後もこのような機会を広げていきたいですね。

千葉第二キャンパス

看護学科就職個別相談会を行いました
〈看護栄養学部 看護学科〉

2022年12月17日（土）に千葉第二キャンパスにて、看護学科3年生（82名）を対象に就職個別相談会を行いました。実習や就職でお世話になっている病院など、18施設、44名の職員の方々にお越しいただきました。現場で活躍する本学卒業生も施設側の職員として参加し、普段は聞けない現場の業務、職員寮、福利厚生など、リアルなお話をしていただきました。学生は将来の就職先候補として、担当者の話を真剣な眼差しで聞いていました。千葉県の保健医療を支える看護職として、本学卒業後も活躍していくことを期待しております。

担当者のお話に真剣に耳を傾ける学生たち

本学卒業生の矢ノ口保健師が
学生の話に真剣に耳を傾けています

栄養学科　3年ぶりの卒業研究報告審査会実施
〈看護栄養学部 栄養学科〉

2022年11月12日（土）に、栄養学科4年生による卒業研究報告審査会が行われました。2020・2021年度はコロナ感染予防のためあいにく実施中止となり、今回は3年ぶりの対面報告会となりました。これまで学んできた食と健康に関わる分野から、学生自身が興味を持つテーマを研究課題として選択し、実験や調査を重ねてきた成果を発表しました。今回は11研究室における計29のテーマで、この日のために各研究室が発表練習を繰り返し、本番では教員からの質問に緊張しながらも堂々と答えてくれました。今回の発表で新たに明らかになった課題や疑問点を付け加えながら、最終的な卒業論文として提出しました。就職活動、そして管理栄養士国家試験など大学生活の集大成となった1年間。栄養学科での学びを誇りに卒業した8期生の社会での活躍を願っています。

同級生そして3年生が見守る中、ちょっぴり緊張の面持ちでの発表です

千葉キャンパス

人形劇で育む保育文化
〈総合福祉学部 教育福祉学科〉

幼稚園課程・保育士課程では、大巌寺文化苑（大巌寺、大巌寺幼稚園、慈光保育園、淑徳共生苑）の協力を得て、学生の保育の専門性を醸成することを目的とした「保育文化構築プロジェクト」が発足。総合芸術である「人形劇」をテーマに取り組みました。夏と冬には、慈光保育園、大巌寺幼稚園の子ども達を招き「人形劇団ひぼぼたあむ」の人形劇を鑑賞しました。また、大巌寺宝物殿の展示物からインスピレーションを得て物語を創作、人形劇づくりにも挑戦しました。プロジェクトを通したプラスαの体験や経験は、保育者を目指す学生の豊かな専門性となり、将来、子ども達に還元されていくことでしょう。

※本プロジェクトは淑徳大学教育改革推進事業の
助成を受け実施されました。

子ども達を招いての「人形劇団ひぼぼたあむ」の人形劇鑑賞

学生の人形劇上演風景（大巌寺幼稚園にて）

「保育文化構築プロジェクト」の様子
（「人形劇で育む保育文化」）は、
こちらのQRコードからご覧になれます）▶

コミュニティ研究Ⅱ「町内会活動と地域コース」
〈コミュニティ政策学部 コミュニティ政策学科〉

コミュニティ政策学部1年次必修「コミュニティ研究Ⅱ」の6コースのなかの1つである「町内会活動と地域コース」（担当：青柳・磯岡）では、千葉市緑区おゆみ野地域のまちづくりについて学びました。宅地開発の初期段階からの住民で、PTA活動や地域のまちづくり懇談会等で中心的役割を果たされてきた福谷章子氏をゲストにお迎えして、町内会・自治会組織が作られる前のおゆみ野地域の状況や現在の地域課題等をご講義いただきました。また、6月には、地域の「緑」の管理や活用に関して話し合う住民会議のなかで誕生した、子どもの外遊びと多世代交流を促進するための地域活動団体「おゆみ野café」の皆さんと一緒に「ミニ縁日」を開催し、まちづくり活動を体験することができました。

ミニ縁日の様子

東京キャンパス

世界最大級の観光・旅行の展示会にブースを出展しました
〈経営学部〉

「ツーリズムEXPOジャパン2022」が2022年9月22日（木）～25日（日）の4日間、お台場の東京ビッグサイトで開催されました。世界78の国と地域、1,018の企業・団体が出展し（その中のひとつが淑徳大学！）、12万人を超える多くの来場者がありました。

出展に向けて学生プロジェクトチームSTeP22が結成され、プロモーション動画を制作したり、SHUKUTOKUブルーの法被を着て、活気のあるブースづくりをしたり大活躍でした。会場では、企業の方と名刺交換をして視野を広げたり、海外や国内の観光地のブースを訪れてその魅力に触れたり、いろいろな出会いを楽しみながら「新しい旅」を主体的に学ぶ、充実した4日間となりました。その様子はぜひYouTubeでご覧ください！

緊張しながらも笑顔で企業の方々とお話しする学生たち

「ツーリズムEXPOジャパン2022」の様子は、こちらのQRコードからご覧になれます▶

学生主体による図書館の活性化
〈人文学部〉

東京キャンパスでは、2022年度、学生図書委員会において新たに学生主体の企画をはじめました。これまでの選書や特別展示の活動に加え、もっと図書館を利用して本に親しんでほしいという想いから、おすすめ本の朗読会やdマガジンの導入、ホームページでのブログ記事を学生自身で作成し、学生の読書への興味や関心をより多く寄せられるよう活動しています。

タブレットで閲覧できるサブスクリプションの導入もされ、便利で快適に図書館を利用することができるようになりました。卒業論文やレポート作成のためだけでなく、空き時間などを有効利用してゆったり静かな環境で読書する時間を過ごしに足を運んでみてはいかがでしょうか。

企画から制作まで学生主体の掲示物も増えました

埼玉キャンパス

2023年度新入生対象ウィンターセミナーを開催しました
〈教育学部・地域創生学部〉

パネルシアターを鑑賞する新入生

2022年12月18日（日）、埼玉キャンパスにて、2023年度新入生を対象としたウィンターセミナーを開催し、教育学部、地域創生学部の入学予定者計120名が参加しました。

ウィンターセミナーでは、教育学部の学生リーダーが主体となって、大学入学前準備についての説明のほか、パネルシアター鑑賞、入学前の不安解消や仲間づくり、アイスブレイクのための「自己紹介ゲーム」等の活動を行いました。最初は静かな様子だった新入生たちも、学生リーダーによる空気づくりのおかげで、徐々にお互いの顔を覚えながら、楽しく交流する様子が見られました。教育学部と地域創生学部の合同開催でしたが、学部の垣根を超え、大いに盛り上がった1日となりました。

2023年度新入生からは、「友達づくりやゲームを通して、大学生活を共にする仲間と楽しく過ごすことができました。」「初対面とは思えないくらいたくさんの人と話せて、とても楽しかったです。とくにレクリエーションと、場の雰囲気から、大学生活への不安を無くすことができました。」「先輩方の姿を見て入学への不安などを解消することができました。」「先輩方が面白くて、新しい友人もつくることができて、とてもいい機会でした。」などの感想が聞かれ、4月から始まる大学生活が、より前向きで、楽しみなものとなったようです。

ウインターセミナーで繋がった新たな縁が、今後の実りある学生生活の糧になることを願っています。

先輩たちがフォローに入りながら一筆書きゲーム

初めは緊張した様子でした

新大学キービジュアル「想い、共に、彩る。」

当キービジュアルのデザインやキャッチコピーの決定にあたっては、本学学生にも参画いただき、募られた意見を踏まえ決定致しました。また、キービジュアルをコンセプトにした動画が大学公式 Web サイト、大学公式 YouTube チャンネルにて公開されておりますので、下記 QR コードより是非ともご覧ください。
なお、動画内のナレーションは人文学部 表現学科 加藤 輝さん、藤田 和奏さんにご担当いただきました。

詳細はこちらをご確認ください
https://www.youtube.com/watch?v=K3SZVb_Tkek

同窓生入試制度について

入学金免除

淑徳大学短期大学部を除く、淑徳大学（大学院含む）卒業生の2親等以内の血族の方または在学生の兄弟・姉妹の方は入学金を免除します。

入学金免除・条件

対象学部	全学部
対象入試	全入試
手 続 き	合格後、入学手続き時に対応

総合点に加点

淑徳大学短期大学部を除く、淑徳大学（大学院含む）卒業生の2親等以内の血族の方または在学生の兄弟・姉妹の方は、同窓会長の推薦書を出願書類と一緒に提出することで総合点に加点します。

優遇資格・条件

対象学部	総合福祉学部・コミュニティ政策学部
対象入試	総合型選抜（専願）のみ
手 続 き	下記の通り、入試前に対応

※同窓会長の推薦書の交付を受けるためには、「同窓生事前面談」を受ける必要があります。

詳細はこちらをご確認ください
https://www.shukutoku.ac.jp/admission/nyushi/dousoukai.html

発行日｜2023年4月1日
編集｜淑徳大学 大学広報誌編集委員会
発行｜淑徳大学 大学事務局

大学広報誌制作における新型コロナウイルス感染防止策について

本誌の制作では、写真撮影は密を避けながら短時間で実施し、取材は電話やオンライン会議システムを活用しました。新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながら、制作にあたりました。

千葉キャンパス
総合福祉学部　コミュニティ政策学部
大学院 総合福祉研究科
〒260-8701
千葉県千葉市中央区大巌寺町200
Tel 043-265-7331

千葉第二キャンパス
看護栄養学部
大学院 看護学研究科
〒260-8703
千葉県千葉市中央区仁戸名町673
Tel 043-305-1881

埼玉キャンパス
経営学部（令和4年度入学生まで）
教育学部　地域創生学部
〒354-8510
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
Tel 049-274-1511

東京キャンパス
経営学部（令和5年度入学生より）
人文学部　淑徳大学短期大学部
〒174-8631
東京都板橋区前野町6-36-4
Tel 03-3966-7631

大学広報誌「Together」読者アンケートのお願い

大学広報誌「Together」は4月と10月の年2回発行しています。保護者や卒業生の皆様に向けて、「淑徳大学の今」をお届けします。皆様の貴重なご意見、ご感想をお聞かせいただきたく、右記QRコードより読者アンケートへのご協力をお願い致します。

https://forms.gle/bnkyvw8D5UYxpqDo7

公式HP　公式Instagram　公式Twitter　アドミッションセンター公式Twitter　公式Facebook

淑徳大学 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
淑徳大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

淑徳大学は持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、積極的に取り組んでいます。
その一環として、この印刷物はFSC®森林認証紙と、地産地消・輸送マイレージに配慮したライスインキを使用しており、環境に配慮した印刷物として発刊しています。